

東京都高体連体操女子専門部申し合わせ事項（体操競技）

2024年4月

※以下の申し合わせ事項は、学年別大会、秋季大会に限る。

●参加資格

- ・本年度、高体連体操専門部加盟校の所属で、東京都体操協会の選手登録を完了した者。
(ただし、当該年度の関東高等学校体操競技選手権大会・全国高等学校体操競技選手権大会の参加資格を有したものの、及び、出場したものは参加資格がない。)

●器械寸度（会場の都合により若干の変更がある）

- ・跳馬：床面より125cmの跳馬を用意する。
- ・段違い平行棒：高棒は床面より255cm、低棒は床面より175cmとする。(2022年度より変更)
- ・平均台：床面より125cmとする。
- ・ゆか：12m×12mとする。※ただし、会場によってはタンブリングボードを使用する場合もある。
※跳馬、段違い平行棒、平均台では、着地点に会場で準備された10cm着地用マットを使用しなければならない。(20cmエバーマットでもよいが、併用はできない。)

●採点に関して

- ・日本体操協会制定の2022年版女子採点規則（変更規則I）及び、(公財)日本体操協会HP掲載の最新情報を適用する。**ただし、一部東京都高体連ルールとして、以下のように変更する。**

① 短い演技の減点について、2022年版採点規則集変更規則を以下のように変更する。

《短い演技》

- ・10.00 もし6技以上の実施であれば
- ・**8.00** もし5技の実施であれば
- ・**6.00** もし4技の実施であれば
- ・4.00 もし3技の実施であれば
- ・3.00 もし2技の実施であれば
- ・2.00 もし1技の実施であれば
- ・0.00 もし技の実施がなければ

② 終末技ボーナスを以下のように変更する。

- ・A = 0.3 B = 0.5 C以上 = 0.7

③ 【跳馬】

- ・着地前に、跳馬上に頭や手の平以外の身体の一部が触れた場合
台上前転 D = 1.0 E = 5.0

④ 【段違い平行棒】

- ・以下の技を承認する。
高棒前振り逆上がり = A
低棒での終末技（難度表に記載のある難度で承認。）

⑤ 以下の技を終末技で実施した場合、「落下の減点(-1.0)」はなしとする。

ただし、終末技なし(-0.5)・DVは終末技を除く7つまでしか数えない。

【段違い平行棒】フット下り 【平均台】ロンダート下り

※ゆかのアクロバットの数え方は、一般規則に準じる。

※その他、採点規則集の難度表にない技は認められない。